



『食品リサイクル循環型社会を目指す企業！』

今回は千歳市泉沢にある「株式会社エコフィールド様」をご紹介します。平成2年5月に設立した飼料、飼料添加物の製造、販売を行っている企業様です。

皆さん食品ロスの現状についてご存じでしょうか？

現在、北海道の年間の産業廃棄物は、約 42,000 トンと言われ、そのうち約 2,000 トンが、食品製造業及びコンビニ等からの排出とされています。

豊かで便利な暮らしを手に入れた一方、環境に対して大きな負荷を与えているのが現状です。もはや放置できない深刻な問題となっています。

エコフィールド様は、このような環境に対する負荷を減らすため、食品関連事業者より今まで産業廃棄物として廃棄されていた食品残さを回収し、豚・鶏の飼料原料として再生する食品リサイクルを行っています。地球に



優しい企業を目指し、皆様と『食品リサイクル循環型社会』を構築して参りたいと考えて下さっています。

私も身近なところから「食材を買いすぎない」「残さず食べる」を意識して生活していきたいと思えます！

< 営業部 : 尾路 >

登録再生利用事業者証	
この標識は、食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律に基づき登録再生利用事業者としての登録の主要な内容を表示しています。	
登録番号	北海道農政事務所 北海道地方環境事務所 1-13
登録年月日(登録有効期限)	令和元年12月25日(令和6年12月24日)
氏名又は名称	株式会社 エコフィールド
代表者の氏名	菅原 昇
再生利用事業の内容	飼料化事業
事業場の名称及び所在地	北海道千歳市泉沢1007番地33 株式会社エコフィールド本社工場

『北斗中学校さんのコロナ対策DIY！！』

みなさんお世話になっております。カミノ田名網です！現在はやっている「コロナ」きっと皆さまは日夜この対策に追われているかと存じます。そんな中で発見し正直感動したコロナ対策DIYを紹介します！

千歳市立北斗中学校 技術科の新木先生が製作された「押し口非接触型手動（足動？）アルコール押機」（私が勝手に命名しました…）です！まず、こちらを手づくりしたという点に感動いたしました…！

それでは、こちらを解説させていただきます。下にある色付きの木の棒を足で踏むと、上にある色付きの木が下に押しされアルコール押し口をプッシュしてくれる…という構造になっております。また可動部分に色付けをして、どこが動くのか、わかりやすくしている部分も、使用する人を気遣う外見になっています。力を与える部分に関して、バネなどの鉄を使用せず、強力なゴムを使用しているため、安全面も考慮されております。

私がこれを見たとき語彙力がなく、「すげえ」しか言えなかったのですが、こういったものを作るのは、本当にすごいと思いました。

対策に関して、お金をかけなくてはいけないところはしっかりとお金をかけていくべきと私は考えますが、こういったアイディアで便利にかつお金をたくさんかけすぎないで対策をしていくべきだと実感いたしました。

この記事がコロナ対策の何か参考になればと思っています。

お読みいただきましてありがとうございました！！

< 営業部 : 田名網 >



『自社 飛沫防止シートの作製を担当しました』

5月初旬、緊急事態宣言解除後の経済活動再開にむけてお客様に安心して来店いただけるよう、弊社社員も安心してお客様対応出来るよう、飛沫防止シートの設置を計画し作製しました。

そのころはコンビニ店舗やホームセンター店舗などでアクリル板を天井から吊り下げたり、展示ポールを利用して透明シートを張ったりと、飛沫防止の取組を目にする機会も増えていました。しかし、いざ自社で作製することになると「吊り下げ式 or スタンド式」、「アクリル板 or 透明シート」、「短期間使用 or 長期間使用」など、迷うことばかり。現状を考え、受付カウンターの長さに合わせて換気の際にも影響の少ないスタンド式で透明シートを使用し出来るだけ社内にある材料を使用することに決め製作にあたりました。最終的には間仕切り用アルミフレームと断裁していた長尺のデスクマットシート(0.4mm)を使用した2台、塩ビパイプと定番在庫品の軟質ビニールシート(0.1mm)を使用した4台を製作・設置しました。



製作後記

シートの厚みは悩むところですが、製作して解ったこと 0.4mm 以上の厚みがあればシートの自重である程度張りが出せます。0.1mm は扱いやすく固定が出来ればバタつきに問題なし。(塩ビパイプに農業用ビニールシートのクリップはサイズが合いシートをピンと張ることができました。)

参考まで……

< 業務部 : 岩切 >

『レジ袋も 買う時代に …』

2020年7月1日から、小売業を営む全ての事業者が対象となる『プラスチック製買物袋の有料化』が義務化されます。義務化に先んじてレジ袋有料化を進めている大手スーパーなどのチェーン・店舗もあり、スーパーでの買い物などにはエコバッグを活用されている方も多いでしょうが、今後はコンビニや衣料品店、本屋など全ての小売店で有料化となります。

とある調査結果では、男性は「エコバッグを持ち歩くのが面倒」「家でゴミ袋として再利用していて、別途ゴミ袋を買うくらいならその都度レジ袋購入でもいい」と『レジ袋買う派』が多く、逆に女性はスーパーなどで既にエコバッグを活用する習慣がついて『エコバッグ持ち歩く派』が多いとの事。

レジ袋 有料化



このレジ袋の有料化、レジ袋の価格は事業者が設定することとなっています。政府の定めるところによると植物由来のバイオマスプラスチック配合率が25%以上の袋は『有料化対象外』となりますが、制度上で『有料対象外』の買物袋を採用していても有料化するということもあり、対応は企業によって異なります。大手コンビニ3社なども有料対象外の袋なのですが、使用量削減のため7月1日からの有料化を決めています。一方、北海道民ご用達?のセイコーマートでは、新型コロナウイルスの感染拡大をふまえ、消費者の負担軽減と、お客さんが持参した袋を触ることで従業員が感染するリスクがあるという事で、有料化対象外となるバイオマス素材30%配合の袋を採用して、当面無料を続けるそうです。そもそもレジ袋有料化の目的はプラスチックごみ削減という環境保全対策。『使い捨て文化の象徴』ともいわれるレジ袋の有料化が、使い捨てのライフスタイルを変えるきっかけになることなのでしょう。常にエコバッグを持ち歩く習慣が定着していくのかもしれませんが、何度も使えて環境にも優しいそのエコバッグですが、注意点を一つだけ。食品を直接入れる事も多いエコバッグ、ずっと使っていると、汚れや雑菌が増えて、実はとても不衛生になります。エコバッグはこまめに洗うなどのメンテナンスをしましょう。

< 営業部 : 瀧石 >

『新型コロナウイルス感染症に関する 当社の対応について』
緊急事態宣言の解除に伴って、営業(外勤)は通常どおり対応させていただきますが、新型コロナウイルスの感染拡大抑制と、お取引先様ならびに社員とその家族の安全確保のため、引き続き、当面の間、**受発注業務(電話対応)の受付時間**を16:00とさせていただきます。※状況により、変更・延長する可能性があります。

発行元 : (株) カミノ
TEL : 0123-23-4255 / FAX : 0123-24-1381
E-mail : kamino@kamino.co.jp
ホームページ : <http://kamino.co.jp/>
(カミノトピックスのバックナンバーもご覧いただけます)